

山田市長の政治姿勢について

伊藤 勝美



〔質問〕山田市長は、市長選挙において、自らを

当選させてくれた市民の期待の根源は何であったと考え、その期待にどう応えようとしているのか、また、2期目に当たり、市政の諸課題に対し、どのような姿勢で取り組んでいくのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕大変厳しい選挙戦だったが、市民の皆さまからは、何としても刈田病院を守ってほしい、これまで以上に充実した診療機能を作り上げてほしいという期待の声を多く寄せていただいた。

政治家にとって大事なことは、しっかりと公約を実現することである。刈田病院の存続、工業

団地の造成による企業誘致、子どもたちの学力向上など、これまで培った全てを総動員し、公約実現に向けて邁進したいと考えている。

〔質問〕いろいろな政策を進めるに当たり、職員

の力なくして市民の福祉の向上はないと考え

る。そのためにも、職員をどう使いこなすが市長の仕事の一つであると考え

る。市民や地域のために、職員に何を望み、何を期待するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕職員には、自らの使命を自覚し、さまざまな課題の解決に向け、失敗を恐れず積極果敢にチャレンジすることを望み、期待したい。

〔質問〕三元代表制の下、地方自治体をつかさど

るのは、行政、そして議会である。

市長は、議会に対し、どのような考えを持っているのか、また、議会に何を望み、何を期待するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕議会は言論の府であり、議員の質問・質疑にしっかりと答弁し、議論を深めていくための機関が議会であると考える。

したがって、議員との議論をさらに深め、さまざまな市政課題を一つ一つ解決していきたいと考えている。

市民への説明責任という大きな役割を果たすためにも、議会と行政がそれぞれの権限を尊重し合い、しっかりと議論を深め、お互いが切磋琢磨し、市民および市政発展のため、共に最大限の努力をしていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎山田市長の市長としての政治手法、良識について

新型コロナウイルスワクチン接種について

森 建人



〔質問〕ワクチン接種の目的は、感染予防なのか、発症予防なのか、重症化抑制なのかを伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕接種予定のワクチンは、ファイザー社製のワクチンで、新型コロナウイルス感染症の発症予防効果が約95%と報告されているが、感染予防効果については明らかになっていないことから、引き続き感染防止策を行う必要がある。

〔質問〕ワクチン接種の予約方法について伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕

市が設置するワクチン接種予約コールセンターで、日時を予約していたか、検討している。

また、スマートフォンやインターネットを用いた予約システムの導入も検討予定である。

〔質問〕基礎疾患のある方として、14種類の病

気や症状が示されているが、対象者をどのように確認するのか伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕現在のところ、自己申告である。

基礎疾患のある方は、予約の際に申し出ていただき、接種前の問診で接種可能かどうか判断される。

〔質問〕一般の方への接種

も集団接種なのかを伺う。〔答弁〕〔市長〕一般の方も、集団接種方式による実施を考えている。ただし、個別接種方式による実施についても、現在医師会と協議を重ね検討している。

◎成人式について

〔質問〕成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が、令和4年4月1日から施行される。

18歳、19歳、20歳の3年代が同時に成人になるが、令和5年以降の成人式の対象はどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕社会教育委員の意見や成人式を迎えた方々へのアンケート調査の結果から、式典は20歳がよいのではないかとこの意見をいただいている。

もし、3年代が同時に式典を行うと、一堂に収容できる会場や開催日時が問題となることから、対象を20歳とする方針を早急に決定し、広報しろいしやホームページなどで周知を図ってきたい。